

CONTENTS ◆土とみどりのミニ園遊会 ◆おくさわ今と昔 ◆八幡小学校・社会科「まちたんけん」
◆グリーンサムのお庭拝見 ◆おくさわのアート ◆活動報告 ◆会からのお知らせ

土とみどりのミニ園遊会

5月のつどい

今年は雨の心配も無く晴れわたった5月の空の下、ミニ園遊会は大盛況でした。人気の売店は手作りの和菓子やクッキー・山菜おこわ・福島の自家製味噌と梅干・素材にこだわったおはぎ等で、すぐ売り切れてしまって人目に触れる間も無かった品もあり、来年はもっと沢山持って来て一と言われました。3年目ともなると毎年この品物を待って下さる愛好者も増え嬉しい限りです。花苗も立派なものを仕入れてきて完売、いろいろ提供して下さった頒布苗もすべて貰われていきました。



(総会風景：長瀬代表の報告)



(3年目を迎えたミニ園遊会の全景)

12時にはソプラノ歌手の小川えみさんが来場され、馴染み深い日本の歌曲を数曲歌って下さいました。5月の陽光をそよ風が揺らす原っぱで、美しい歌声が青い空に散っ



(ソプラノ小川さん)

ていきました。暫くして、今度はオペラの数曲を聴かせて下さいました。土のステージを自在に移動しながら無伴奏で歌われる姿と美声にすっかり魅了された一幕でした。

先着 50 名分を準備したおみやげの花束は勿論、品物はすっかり売り切れ、人影も無くなって1時頃には片付けムードになってしまいました。



(壁新聞と苗の販売)

予定より早く終わってしまって、後日「行ったら誰もいなかった」と仰言の方が何人もあり、本当に申しわけございませんでした。毎回前の反省を踏まえて計画を立てるのですが至らぬ事ばかりです。今回も快く土地を使わせて下さった地主さん、売店ボランティアの方々、頒布苗を提供して下さった方々、歌って下さった小川えみさん、御近所の皆様のご協力、そして、御来場の皆様に心から御礼申し上げます。(柳島)



(NPO 設立の説明：堀内代表)

おくさわ今と昔

奥澤『植え溜め』あれこれ

奥澤5丁目 堂山幸男

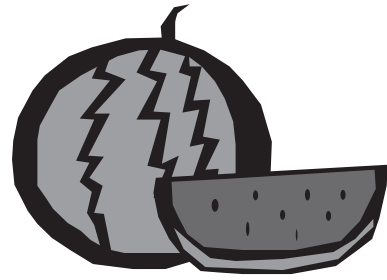
昭和50年初めに奥澤に家を建ててもう30年をこえた。海の公園造りの関係で造園の仲間がまわりに結構いる、最初家の回りの生垣を何にするかで『専門家』にご意見を拝聴したが、十人十色、結論が出ないことがわかってエイヤアと自分で選んで植え込みを始めた。その結果を報告したつもりがたった一言、そういうのを『植え溜め』というんだよと切り捨てられた、その『植え溜め』顛末を報告する。

・・・・・・・・・・・・・・・・

淡いピンクと白とシボリの3種咲き分けの桃『源平』、最初に南側に植えたのがこれ、春三月の声を聞くと色づきほころび、我が家の春到来のトップバッターとなった。八重は実がならないはずなのに可愛い実があとあとまで楽しませてくれていた。味も酸味があって懐かしい桃のかおりがした。少し遅れて杏が明るく花開く、家の前は八幡小学校の通学路になっているが、前を通るお母さんが子供に『サクラの花綺麗ね』と教えているので家の中から『それ杏で一す』と声をかけるのも当座しばらくの日課になった。

白加賀から始まって姫りんご・葡萄・ピラカンサス・・・春の植え溜めはこんな花々のラッシュとなるが、それらを目当てに四十雀・ひわ・尾長といった常連が季節を忘れずにやってくる。彼らは義理堅くいろいろなプレゼントを運んで来てくれる。ゆずりはが庭の真ん中に出現した時は、なんだか貴重な贈り物もらった感じで嬉しくなった。しかし成長が早く残念ながら10年ほどで北側にお引取り願った。面白いのは南天、家を造った当初文字通り南天の役割で玄関脇に植えたが、花は咲けども実のつかない状況が20年ほど続いた。諦めていたところ今では、南側道路に沿って10数本に増えた彼らが、最初のと合わせて、赤白取り混ぜて見事な重量感ある実をつけて冬から春にかけて道行く人を含めて楽しませてくれている。これも小鳥の贈り物の一つである。それも前に新聞で話題になったアスファルトを突き破って成育した『けなげ大根』のように、フェンスと公設の街渠ブロックのわずか15mmの隙間から今では10本をこえてによきによき伸びている、それに実がたわわについて見事な飾り物になってくれている。

このシリーズでは奥沢に長くお住まいの方と新しく移ってきた方々など、毎回2人の住民の方が登場し、このまちにちなんだエピソードを語っていただきます。



土とみどりを守る会で先年推奨樹木に選定していただいた『ピラカンサス』にはこんな話もあった。当時二階のベランダまで達して壮観な真っ赤なオブジェが嬉しくて、年賀状に使ったところ、環八沿いの女子校で講師をやっている仲間の奥方が授業を終えて自由が丘に友達と散歩がてら食事に来た時、この前を通って観たことがあると、そんな返信をもらった時は世の中結構狭いもんだと嬉しくなった覚えがある。

・・・・・・・・・・・・・・・・

話は飛ぶけれど、お台場に海浜公園を創っていたころは『十年後の埋立地に森の創設』が合言葉だった。十年後森は出来たが、丁度そのころ臨海副都心開発が動き出し、海浜公園の森を借景して台場日航ホテルが出来た。さぞや部屋から森の情景を眺めて大満足と思いきや、支配人から、『宿泊客の治安上、森の樹を少し切って見通しの利くヤシ類に変えてくれ』との要望、丁重に緑の大切さを説明してお引取り願ったが、森は疎林となり小鳥の楽園にはなりそこなくなってしまった。人間中心の都会の真ん中では致し方ないということだろうか。

・・・・・・・・・・・・・・・・

最近我が家のお職は『たちゆら』(トランペットフラワー)となっている。室内で10年ほど秋になって2~3輪が細々と花開いていたが、大きくなりすぎて玄関脇に卸したら四方八方に枝を広げ、昨年三月いきなり花が咲き出した。最盛期には百輪をこえて淡い黄色と優しい芳香がたゆたう、えもいわれぬ環境を演出してくれている。仲間に写真を添えてこんな手紙を送った、『不謹慎といわれるかもしれないけれど亜熱帯性の植物が露地で咲くなら、温暖化もまんざら捨てたものじゃない・・・』。

雑駁に近況をつづりました、人とみどりの輪が広がっていくことを祈ります。

●このシリーズへの御投稿をお待ちしております。お話を聞かせ下される方にはうかがいに参ります。

八幡小学校・社会科「まちたんけん」

7月3日に八幡小学校の3年生の社会科「まちたんけん」授業に、会から堀内代表以下6名がお手伝いしました。

- 会の動機：奥沢グリーンマップを小中学校の教育や安全に役立てたい。
- 学校のねらい：自分の暮らす町を探検し、特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設施設の場所と働き、交通の様子などを調べ、地域の様子が場所によって違うことを気づいてもらう。
- リーダー & サポーター：・3年生担任・学校運営委員；堀内代表・教育支援コーディネーター；鈴木雅晴さん、
・PTA、父兄、・玉川まちづくりハウス、土とみどりを守る会ほか
- まちたんけんグループ：5班（生徒数85名）；・九品仏・九品仏川緑道・自由が丘・奥沢神社・玉川田園調布
――生徒達は、これまでの探検を元に課題決め→課題グループ毎の探検計画をつくり→質問、インタビュー、資料集めの準備→探検→まとめと地図づくり（7月16日発表会）という一連の学習を重ねてきました。普通の大人のサポーターの説明授業はいろいろな発想があり、かなり刺激の多い新鮮な体験をしたと思います。
今後継続されれば、グリーンマップを活用した安全教育も課題となるでしょう。（鈴木）

猫じゃらし公園コース

八幡小学校から自由通り経由九品仏川を通過して猫じゃらし公園に行き、復路は浄真寺の外壁をめぐる九品仏参道・奥沢6丁目から学校へというコースを随伴しました。途中、子供たちに住み心地の良い住宅地とは緑被率の高いところだと話して聞かせましたが、子供達の研究発表会で、商店街は緑被率が低いなどと聞かされ忸怩たる思いがしました。（長瀬）



（九品仏川緑道の猫じゃらし公園）

奥沢神社コース

奥沢神社石碑探検→奥沢駅ツバメの巣立ち→奥沢4丁目街並み歩きで、生徒は頑張って「たんけん」しました。・奥沢神社にある多くの石碑、石像の場所あてクイズに挑戦してもらいました。漢字ばかりで難しかったと思いますが、慰霊碑で「誉の桜」を植樹した人の名前や、石碑の年代から庚申講が60年毎だったのを理解してくれました。

・奥沢駅では、親と同じ大きさに育った巣立ち寸前のツバメに感動していました。

・奥沢4丁目の街並み探検は、3軒にわたり続く生垣を暑さに耐えながら頑張って歩き通し、学校に帰りました。

今回は初めてのため上手くいかない部分もありましたが、工夫重ね面白い授業にできると思います。（鈴木）

グリーンサムのお庭拝見 vol.19

梅雨明けの猛暑の日に、奥沢5丁目20番地の宮下さんのお庭を訪ねました。昭和8年に越して来られた時にあった栗林の、名残りの栗の木2本に小さな毬栗が沢山なっていました。枝を落とすと栗がならないので、数年一度は枝切りを休んで実を楽しむのだそうです。南側は山茶花の垣根を背にして、もみじ・くちなし・椿・蜜柑・梅等が並んでいます。根本には石躑・藤袴。絶えてしまったと思ったエビネが数年後に1株見つかった時の嬉しさーと話される奥様の笑顔に、植物を愛する心の深さを見ることができました。70年余りお庭に置かれて風格の出ている鉢置を見ながら、ブルームーンというバラのアーチの下の枝折り戸を抜け西側にまわると、青銅・

金木屋・ねずみもち・くちなし・百日紅、西北の奥に樺が2本。どれも70年以上の風格ある立派な木が、こざっぱりと手入れされています。東側の道路沿いのフェンスには3種4本のバラが茂り、花時にはそれはそれは見事です。黒点病が出ましたが、通行人に配慮して薬の噴霧を控えているとのこと。御夫妻が替わるがわる御説明下さいます。

この暑さの中鮮やかに咲くバラ一輪、サラサラと栗の梢を通る風、ウッドデッキでそれらを楽しみながら、蜂蜜酢で作ったおいしい果実酢を御馳走になる至福。心温まるひとときがゆっくりと過ぎていきました。御夫妻はこのウッドデッキでどんな会話を楽しんでいらっしゃるのでしょうか。お庭の拝見と共に魅力的なすてきな御夫妻にお会いできた楽しい時間でした。（立花）

おくさわのアート - 5 -

今回は、奥沢の地を愛し芸術の世界に生涯を捧げられた宮本三郎画伯の



記念美術館をご紹介します。画伯の逝去後、ご自宅と共に油彩画 300 点・デッサン 3000 点・愛用の家具数点が、ご遺族から世田谷区に寄贈されました。世田谷美術館の方々が奥沢地区の皆さんと話し合いを重ねて会館が設計され、2004 年 4 月に世田谷美術館分館として開館しました。以来年 3 回の展示変えの度にテーマを変えて、画伯の画業を様々な視点から紹介しています。2008 年度の今後の展示は<第 2 期 (8.2 ~ 11. 30) 宮本三郎の日常風景一暮らしを描く><第 3 期 (12. 6 ~ 3. 22) 画家

グリーンマップに表示した地域の美術館・ギャラリーを順次訪問して紹介します(毛利)

の書棚に見る昭和のアートブック史>です。

この美術館は 1 階に講座室が設けられ、子供向けのワークショップや短期間のデッサン講座・写生会その他種々の催しを行っています。又 2 階の展示室では年 4 回コンサートが開かれ、絵に囲まれた中で演奏や歌を楽しむことができます。地域の方々との交流を大切にして、皆様に親しんで頂ける美術館を目指しています。



世田谷区奥沢 5 - 38 - 13 TEL 03-5483-3836

開館時間 10:00 ~ 18:00 (入館は 17:30 まで)

休館日 月曜日(休日の場合は翌日)

観覧料 一般 200 円 65 才以上 100 円, 高校・大学生 150 円
小・中学生 100 円

(土・日・祝日・夏休み中は無料)

活動報告

●総会 ミニ園遊会に先立ち、総会を開催しました。19 年度の活動報告、新年度の活動方針及び 19 年度決算・20 年度予算の審議を行い、いずれも了承を頂きました。

●NPO 設立総会 総会の審議事項として NPO 設立について、堀内代表理事からの説明と審議が行われ、設立についてのご賛同を頂きました(本議題が NPO の設立総会となりました)。

NPO 設立は、本会が任意団体から発展し、組織として責任のある運営を行うことが必要な段階にきているためです。活動内容や会員資格、運営は従来と殆ど変わりません。

●八幡小学校校外学習 3 ページに記載しました。今後も安全という観点も含めた教育支援が計画されています。

●壁新聞 壁新聞の第 1 号はミニ園遊会で掲載しました。今後は数箇所におき記事も更新する予定です。

●ホームページ運営 NPO 設立の時期を迎え、ホームページソフトが 19 年度の助成金で使い易くなりましたので力を入れていきます。

会からのお知らせ

●秋のつどいでは恒例のまちめぐりをします。今年は森試の森方面が候補に上がっています。9 月末か 10 月初めになりますが、どうぞ御参加下さい。詳細はチラシでお知らせします。

●奥沢のまちの古い風景が写っている写真を探しています。お持ちの方はどうぞご連絡下さいませようお願い申し上げます。

●土とみどりを守る会は、会員皆様のご協力を頂いて活

動しています。私有地の緑が減り続ける中で会の活動はますます重要になっていくと思います。そこで会の活動資金として年間 1 口 1,000 円の会費によるご協力をぜひお願い致します。お電話を頂ければすぐに対応させて頂きますからご連絡下さい。

土とみどりを守る会 連絡先

世田谷区奥沢 2-19-9 長瀬雅義 5729-0126

世田谷区奥沢 2-41-2 柳島尚子 3718-8558